

第3次千葉県青少年総合プラン 令和4年度事業評価シート

事業NO	16
------	----

事業名	いきいきちばっ子食育推進事業		
担当課・室・班名	教)保健体育課 給食班	問合せ先(電話番号)	4095

1 事業の概要

柱	I	基本目標	1	基本方策	②健康と安心の確保					
事業内容	「ちばの食」を通じて子どもたちの健やかな体を育むとともに、規則正しい生活習慣を身につけさせるため、食育ノートの活用や体験型の食育活動を行うなど、学校における食育を推進する。									
当初予算額(千円)	H30年度	2,200	R元年度	2,274	R2年度	2,274	R3年度	2,293	R4年度	2,027
決算額(千円)	H30年度	1,079	R元年度	1,548	R2年度	1,168	R3年度	1,310	R4年度	1,333
財源内訳	県単(O)	他財源	県単(O)	他財源	県単(O)	他財源	県単(O)	他財源	県単(O)	他財源
	○		○		○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果(4年度)

・食に関する指導事業地区別研究協議会では、4つの地区で対面での開催となり、1つの地区はオンラインによる開催となった。対面開催を行った地区では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から人数を制限して実施した。
 ・地域における食育指導推進事業では、公開の範囲を学校や地域の実態に応じて決め、参観者を集めた参集形式で授業公開と研究協議会を実施した。
 ・高等学校と連携した食育活動支援事業では、県立高等学校2校、小中学校3校で実施した。令和3年度の実践事例については、研修会等を活用して紹介を行った。
 ・高等学校における食育推進のためにリーフレットを作成し、県内全高等学校の1年生を対象に54,000部を発送した。

(2)事業の成果(4年度)

・食に関する指導事業地区別研究協議会や地域における食育指導推進事業では、県の施策をはじめ食に関する指導の在り方や実践事例について周知し、各地域・各学校における食育の推進を図ることができた。
 ・高等学校と連携した食育活動支援事業では、高等学校の圃場を有効に活用し、支援校である高等学校と参加校である小中学校の児童生徒が苗植えや収穫等の体験を通して関わりをもつとともに、小中学生と高校生との交流も取り入れながら食育の充実を図ることができた。
 ・高等学校における食育の推進では、リーフレットを作成・配付したことで、高校生の食の自立に向けた意識を高めることができ、健全な食生活の実践に向けた食育の推進に効果的であった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等(4年度)

・地区別研究協議会では、「第4次千葉県食育推進計画」で示された内容や施策等を確認し、各学校における食育がより一層充実するように進めていく必要がある。また、本計画に関連する事業等を積極的に周知していき、各学校の教育活動全体を通じて食育を推進していけるように働きかけていく必要がある。
 ・栄養教諭等を中心とした食育の推進を図るために、地区別研究協議会や授業公開等を通して食に関する知識を高め、情報共有等を図っていけるようにする。

4 関連指標

関連指標	[基本的生活習慣の形成] 朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合 <全国学力・学習状況調査>					目標	増加を目指します
	基準年(H29)	H30	R1	R2	R3	R4	
	小学校6年生 95.2% 中学校3年生 92.2%	小学校6年生 94.1% 中学校3年生 90.8%	小学校6年生 94.8% 中学校3年生 92.0%	全国学力・学習状況 調査中止のため未実施	小学校6年生 94.9% 中学校3年生 92.8%	小学校6年生 94.4% 中学校3年生 91.9%	

5 委員意見